

令和5年度 第1回島原市総合教育会議 議事録

○日 時 令和6年1月26日(金) 10:00~10:50

○場 所 本庁舎 2階2A会議室

○出席者

市	長	古川 隆三郎
教 育	長	堀 口 達 也
教 育 委 員		立 花 博
教 育 委 員		村 里 亜 紀
教 育 委 員		吉 田 光 利

○欠席者

教 育 委 員	高 見 彰 久
---------	---------

○事務局

【市長部局】

市長公室長	古 賀 英 樹	総務部長	欠	席
福祉保健部長	森 川 正 則	総務課長	永 井 建 児	

【教育委員会事務局】

教育次長	松 崎 英 治	教育総務課長	酒 井 昭 利
学校教育課長	牟 田 満	社会教育課長	中 村 憲 一
スポーツ課長	中 島 耕 一	教育総務課班長	末 吉 由 美

○傍聴者 2名

○次 第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 島原市教育大綱について
- 4 その他 意見交換
- 5 閉会

1 開会 (10:00)	
事務局 (永井総務課長)	<p>おはようございます。ただいまから、令和5年度第1回島原市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>司会を務めさせていただきます総務課長の永井と申します。</p> <p>本日は、皆様のご協力をいただきながら進行させていただきたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
2 市長あいさつ	
事務局 (永井総務課長)	<p>それでは開会に先立ちまして、古川市長からご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
市長	<p>本日は、令和5年度第1回総合教育会議を開催しましたところ、教育委員の皆様方には、公私とも大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>皆様方には日頃から、学校教育、社会教育及びスポーツの振興など教育行政全般について、多大なるご尽力をいただいておりますことに対しまして、心から感謝申し上げます。</p> <p>本日は、「島原市教育大綱について」を議題として、意見交換をさせて頂きたいと考えております。</p> <p>ご承知のとおり、教育大綱は平成27年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、地域住民の意向をより一層反映させるため首長が策定するもので、その地域の教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めたものであります。</p> <p>本市におきましてもこうした趣旨を踏まえ、平成28年3月に第1期を、令和2年3月に第2期を策定したところでありますが、本年度末に計画期間の終期を迎えることから、今回、来年度以降の大綱案を提案させていただくものであります。</p> <p>なお、本日の会議では、この議題のほか、教育行政全般についても意見交換の時間も設けさせて頂いております。本日は時間が限られているようですが、皆様方の忌憚のないご意見・ご感想等お聞かせいただきながら、私の考えもお伝えし、実り多い会にできればと考えておりますので、最後までどうぞよろしく願いいたします。</p>

3 議題

事務局 (永井総務課長)	<p>ありがとうございました。それでは、早速協議に入りたいと存じます。</p> <p>島原市総合教育会議運営要綱第4条第1項により、総合教育会議は市長が招集し、議長となると規定されておりますので、これ以降の議事進行を市長にお願いしたいと存じます。</p> <p>それでは、古川市長よろしくお願いいいたします。</p>
市長	<p>それでは、本日は会議の傍聴の希望がっておりますが、許可することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>《異議なし》</p>
市長	<p>異議がないようですので、傍聴の許可を決定致します。</p> <p>《傍聴者入室》</p>
市長	<p>それではただ今から協議に入ります。</p> <p>議題の1番「第2期島原市教育大綱の策定について」を議題と致します。まずは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (酒井教育総務課長)	<p>教育総務課長です。別冊の令和5年度第1回島原市総合教育会議、議題検討用資料の1ページをお願いします。</p> <p>まず、教育大綱の法的位置づけについて、簡単に説明させていただきます。</p> <p>上段が法律上の位置づけであります。根拠法令、策定主体、策定方法を記載しています。1ページの下段の枠囲みの関係法令の抜粋になりますが、先程、市長からも説明があったとおり教育大綱は、その地域の教育、学術及び文化の振興に関する施策の根本となるもので、首長が総合教育会議で教育委員会と協議して定め、策定後は公表しなければならない旨が、法的に義務化されています。</p> <p>また、大綱の策定は、教育基本法で国の教育振興基本計画における基本的な方針を参酌して、市長が定めることとされておりますが、教育の課題は地域によって様々であることから、それぞれ地域の実情に応じて策定するものとされているところであります。</p> <p>従って、実際には、県の教育大綱や教育振興基本計画を参酌しつつ、市の教育振興計画及び市の最上位計画である「市勢振興計画」の教育・文化部門</p>

との整合性を図りながら策定することとなります。

なお、2ページには、国の考え方、本市の教育大綱と教育振興基本計画の策定状況を記載しており、3ページには、教育行政に係る国・県・市の計画一覧、4ページには、国、県、市の教育大綱や教育振興基本計画及び市勢振興計画のそれぞれで定められている目標や方針などを一覧にまとめたものを付けております。

3ページの教育行政に係る国・県・市の計画一覧をお願いします。この一覧に基づき本市の教育大綱について説明します。

現行の第2期の教育大綱が令和5年度末までとなっており、本来であれば、第3期の教育大綱の策定案を提案となるところですが、先程も教育大綱の策定方法は、国・県の計画を参酌し、市の教育振興基本計画及び市の「市勢振興計画」の教育・文化部門との整合性を図りながら策定とするものと申しましたが、その場合、表の一段目になりますが、国の教育振興基本計画は令和5年6月に策定されたことから参酌に問題ありませんが、国の下の県は、記載のとおり令和6年度からの教育振興基本計画を教育大綱も兼ねることとして現在策定中であります。

また、本市の総合計画である令和2年度から10年間の市勢振興計画の中間見直しが令和6年度に行われることなど、このタイミングで第3期を従来のまま4年間の次期教育大綱を策定することは、参酌する計画が前後しているため、整合性を図ることが難しい状況にあります。

令和12年度の時点で、参酌する国、県の教育振興基本計画や市の総合計画などが時系列で並ぶように、策定年度の調整を行うということで、現行の第2期教育大綱を2年間延長し、令和7年度に、次期の教育大綱を策定するという方向で提案させていただきたいと思っております。

なお、2年間延長した場合、次期教育大綱は、令和7年度が策定期間となりますが、この表においては、下段に島原市教育大綱に変更案①及び案②とありますが、案①が現教育振興基本計画を1年短縮し、大綱と教育振興基本計画を統合する案で、案②が、従来どおり教育振興基本計画と大綱を別々策定し、期間については、基本計画は1年間短縮または次期を4年間とし年数を調整する案となっています。どの方向でいくかは、令和7年度に再度検討することにしたいと考えております。

現行教育大綱を2年間延長することについて、説明を終わらせていただきます。

ご協議の程よろしくお願いたします。

市長

ただいま、事務局から説明がありました「島原市教育大綱について」、

<p>市長</p>	<p>国・県の計画や市の総合計画等を参酌し、整合性を図る場合、策定年のズレから問題があるということで、「現行の第2期島原市教育大綱を2年間延長」について、委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたら、出していたいただければと思います。</p> <p>何かございませんでしょうか。</p> <p>何かないでしょうか。ないようでしたら、私の方からちょっと質問させていただきます。</p> <p>国の計画であり、県の計画であり、やはりバラバラっていうよりも、市の総合計画あたりとの整合性は必要だなというふうに市長という立場でも感じています。</p> <p>その中で、特に今後の大きな課題である小・中学校の統廃合が、2050年の人口推計等が最近出されて、今日の新聞に、10代・20代・30代の減少率まで載ってるんですよ。そういうのを見ていくと、保護者の世代がどんどん減少していく、加速化するというので、こういった今後の島原市の小・中学校の統廃合に及ぼす影響がですね、この2年間、影響すること何かあるのかなのか、それはそれとして、きちんと確立されて進んでいくのか、その点だけ質問させていただきます。</p>
<p>事務局 (松崎教育次長)</p>	<p>教育次長です。今、市長があったお話のとおり、今人口の推計と見通しというのがかなり厳しい状況も発表されているのは、認識しております。今、小・中学校の再編ということで、今年度いろんな団体の方に説明をさせていただいているところでありますけれども、今後、具体的にになっていけば、地域の方の当然慎重な議論も必要になってきます。</p> <p>2年間の間でそういった方向性も、探るような形の期間にもできれば、とは思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>延長をするから、統廃合も何か時期的なものが後ろにずれるっていうことじゃないということですよ。むしろ、場合によっては統廃合、早くすべきっていう意見もあるかもしれない。</p> <p>地域や市議会あたりからも、実情が反映すべきだと。そういったことに2年間の延長がリンクしないっていうか、影響を与えないというふうに理解していいですね。</p>
<p>教育長</p>	<p>教育長です。直接この計画を延長したからといって、統廃合が2年延びるということではございません。</p>

市 長	<p>むしろ、来年度から各小中学校の保護者を中心に説明をしていきますので、具体的な意見がたくさん出てくると思いますから、そういったものを踏まえて、統廃合にも反映はできるんじゃないかなというふうには考えております。</p> <p>そこを担保していただければ、わかりました。他、委員さんから何かお気づきの点ございましたら、お願いいたします。</p> <p>今日は、変更1案か2案かを決めることは必要ないんですね。2年間ずらす、後ろにずれるっていうことをまずここで確認できればということでもいいんですか。</p> <p>(「はい」の声)</p>
市 長	<p>ないようでしたら、現行の第2期島原市教育大綱を2年間延長としたいと思いますが、委員の皆様方、ご理解いただけますでしょうか。</p> <p>(「はい」の声)</p>
市 長	<p>それでは第2期島原市教育大綱を2年間延長させていただきます。その他、何かご意見、ご質問等はありませんでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
市 長	<p>なければ、現行の第2期島原市教育大綱を2年間延長とします。次に、第2期島原市教育大綱の改正案について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局 (酒井教育総務課長)	<p>[別紙「島原市教育大綱について(改正案)」資料にて説明]</p>
市 長	<p>今、事務局から説明がありました。委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたら、出していただければと思います。何かございませんでしょうか。</p>
市 長	<p>ないようでしたら、私から。2年間延長するっていうことが決定して、今、改正案の中身の説明があったんですが、よくこの喫緊の課題をこれから2年間の中に落とし込んでくれているなっていうのが、率直な実感です。</p>

	<p>先ほども言いましたが、統廃合に関わることに触れてあって、それから部活動の地域移行、国がそういった方針を示すけれども、地方においてはなかなか課題としては大きくなりつつあります。</p> <p>こういったことも、この2年間でやはり、どう進んでいくかも含めて触れてあること、それから地域コミュニティのやっぱり拠点としての地域づくり、学校施設等も触れてある。</p> <p>それから、島原城が400年を迎えていることの中で、島原城跡が歴史ある城下町、松平文庫というところの中におそらく、400年の今年、国指定を目指すってようなことが、触れてあるんだろうと思いますが、まずこの島原城跡や歴史ある城下町という意味の中に、やはり県の指定から1ランク上げて国の指定に進むというようなこと、その中にあるというふうに理解していいんでしょうか。</p>
<p>事務局 (中村社会教育課長)</p>	<p>社会教育課長です。400年という具体的な文言につきましては、令和7年までの計画でもございますので、載せておりませんが、そこを含めて文章を練らせていただいております。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、よろしくお願いします。それからですね、水泳学習の公共施設プール活用を追加しているところが7ページにあります。これまでは、学校プールを利用したら、どうしても7月ぐらいに、子どもたちの水泳能力をアップするというようなことが中心だと思うんですが、今後は年間1年間というスパンの中で、学校の繁忙期といいますか、暇なときはないんでしょうけど、1年間という中で温水プールですので、カリキュラムを少し余裕を持ってとか、フレキシブルにいいんじゃないかっていう点が1点、それから、できれば着衣泳法もですね。もし川や海に落ちたときに、最低限のことをどうしたらいいか、とかこういったことがですね、新たなプールを作ると子どもたちの水泳授業のあたりから見えてくるんじゃないか、と思ってるんです。</p> <p>その辺についての見解が良かったら聞かせたいです。</p>
<p>教育長</p>	<p>教育長です。まず、子どもたちにとって何が一番いいのかっていうことを考えたときに、やはり専門性の高いインストラクターに、現在、市内10校ございますけれども、今、有明のプールで三会小学校と有明地区の5校が公営の施設でやっておりますので、今度プールが完成しましたら、ぜひ残りの5校を新しい公営のプールの方でと思っております。</p> <p>来年度あたりからは、市長がおっしゃられたとおり教育課程を長いスパンで組むことができますので、そのことによる、どんな活用ができるのか、ま</p>

<p>市長</p>	<p>た、市民と一緒に活用できる、そんなプールにできないかということを検討してまいりたいと思います。</p> <p>集中月っていう考え方もあったんだろうけども、施設が1年間、本当に環境良く使えるってということで、子どもたちの負担も軽く、そして指導教員の負担も、働き方改革も当然入ってきてる。</p> <p>それから民間のインストラクターというのは、非常に多様な能力をお持ちですよ。こういったことが使えるようになってほしいと思います。</p> <p>それから統廃合に関して、小・中学校をどう統廃合していくかに関係してくると思うんですが、例えば公民館であるとか、教育文化施設等を学校施設等と一緒にした場合、どんなことが考えられるのか。</p> <p>実は、おととい全国市長会の教育分科委員会に行ったときに、文科省の方が来られて、その辺の新しいメニューをお示しされました。</p> <p>ちょっと進んで、公共施設等総合管理計画から地域で必要なものへの空き教室の転換等の話であったんです。ですから、やっぱりこういったふうなことも踏まえた、統廃合が見えてくるんじゃないかと思うんで、そこについて、見解をお知らせください。</p>
<p>教育長</p>	<p>教育長です。まず冒頭ですね、市長がおっしゃいました今日の新聞の人口減少の話ですが、教育委員会でもそれは事前に確認をしております、教育委員さん方にはまだお話ししてないんですけども、12月末に国立社会保障人口問題研究所が発表いたしました。</p> <p>資料では、島原市は2020年を100としたときに、2050年は38%減少するという新聞報道がありました。私どもの方は、詳しいデータが出たときに0歳から14歳がどういうふうに推移するのかっていうのを実は、興味深く思っております、先般出ましたので確認してみましたら、市民全体としては38%なんですけど、0歳から14歳は、2050年には50%減になる、ということで市の総人口の減少の割合よりも、学齢期の児童生徒の人口が30年後には半分になってしまう。そんな厳しい状況に、大変ショックを受けたところであります。</p> <p>そういった中でこれからこれまではどちらかという、地域の代表者町内会長さんであるとか、PTA連合会であるとか、いろんな組織を代表の方に説明をしてまいりましたので、新しい年度からは学校を中心に、学校に関わっておられる地域の方々とかですね、そういう方を中心に保護者や、学校の運営協議会の運営委員など地域の方で得に関わってくださってる方に中心にしながら、地域の方にも参加を呼びかけをしながら、教育委員会中心の説明</p>

	<p>会を、意見を聞く会を開催していきたいと思ってます。</p> <p>そういう中で、公民館を一体化して建設した場合の補助金がどうなるか、有利な状況がないのか、あるのか、っていうこともちょっと情報を得てるんですが、具体的には、これから追求していきたいというふうに思ってます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。私の方もそういった関係の情報がちょっと市長会に入ってますので、共有させていただければと思います。</p> <p>今すぐ、するしないってことじゃなくて、情報として共有をしたいと思います。</p> <p>私からはこの時点では以上ですが、教育委員さんから何かやっぱりせっかくですね2年間の延長だけじゃなくて、その2年間の課題というものをまとめていただいたことには、心から感謝します。</p> <p>立花委員から、何かございませんか。</p>
立花委員	<p>私の方から特にありません。</p>
市長	<p>吉田委員からよろしいですか。</p>
吉田委員	<p>特にありません。</p>
市長	<p>村里委員よろしいでしょうか。</p>
村里委員	<p>特にありません。</p>
教育長	<p>せっかくですので、部活動の現状をちょっと報告させていただきたいと思います。</p>
市長	<p>どうぞ、どうぞ。また委員の皆さん、その他のところで教育全般でご意見ございましたらお願いします。はい、教育長どうぞ。</p>
教育長	<p>先ほど市長の方から、部活動の地域移行について、というお話がありましたので、あのあくまでも今現在、議論をしている中身ということで、まだ教育委員さんにも正式にお伝えをしたわけではございませんので、事務局として今こんな議論をしているということ、市長にもご理解いただけたらと思っています。</p> <p>まず部活動の地域移行が非常に先に出てしまって、全て学校が手放すよう</p>

な感じになってますので、あくまでも島原市としては、まず目的ですけども、生徒がいろんな部活をやってみたい、運動部活動や文化部活動、それができる環境を整えるということが一番の目標にやっていきたいというふうに思っています。

島原市の大きな特徴は、かなりの部活動を外部指導者が協力してくださってますので、その環境を生かしながら、島原市の場合はまだ合同チームでやれたりする部分もありますので、そこは大事にしていき、逆にチーム編成が厳しくなったり、活動がなかなかしにくいついていう、部活動が出てきつつありますので、そういったところと相談をしながら、例えば、クラブ化を提案していったりということで、各競技団体と今、協議をしながら、一つ一つ回って、その競技の事情を聞いております。

例えばある競技でしたら、しばらく今のままでいいと、成り立たなくなってきたら、クラブ化や拠点校化つていうことを指導者や協会と一緒に話合いをしていきたいと。そんな声も私にいただいていますので、現時点では、そういった声を集めて教育委員会として、3年間のビジョンを少し描いてみたいなと思ってます。

それがある程度、固まりましたら、定例の教育委員会で報告をさせていただいて、市長にも報告ができたらということで、今ビジョン作りがおおよそ出来ているんじゃないかな、というふうな印象を持っているところでございます。

市長

はい、ありがとうございます。今年度の大きな変換があったのが、学校教育における部活動チームであっても、2つ以上の合併チームが中体連に出れるようになりました。高体連もそのようになったようです。

その結果、良い成績を残したつていう現実も島原でも起きています。これが来年度以降どうなるのかな。子どもたちの頭数が、チームを維持するようになったときに、あえてまた別の学校と合併するのかなつていう、先が見えないつていう不安があります。

文科省の資料を読むと、そういうクラブチームになったときに、教員が指導者でない方が望ましい、というくだりがあったんですよ。

これ何を意味してるのかな。働き方改革なんかで、学校ではできないから、地域でお願いをする一方で、あえてクラブチームに教員が行くつてのは、それはもう、何かが変わつてないんじゃないかつていうような捉え方かなというふうにも思うんです。

教員の働き方改革で、僕はこれは大きいと思うんですよ。やはり学校の先生として教壇に立つて、やっぱり得意分野をきちんと教えたり、生活指導す

<p>事務局 (牟田学校教育課長)</p>	<p>ることのボリュームと、何でもかんでも先生に言うんですね、どこかで負担が大きすぎているのが、見えてきてるかなっていうのも思うんで。その辺は、学校教育課長はどのような感じを持っているか教えてください。</p> <p>学校教育課長です。昨年度、学校教職員、児童生徒、そして保護者、地域の方、あるいは今現在の指導者の方から意見を聴取しました。</p> <p>そういった中で、やはり教職員にとっては、この部活動というのは一つ大きな責任のある業務であるということは捉えています。今現在、叫ばれております地域移行が進むことによって、自分たちの働き方が変わってくるのであれば、ぜひそれに賛同したいという意見が多くございました。</p> <p>一方で、これまでの中学校における部活動の果たす役割というもの、我々は、認識しておかなければならないと思っております。その双方をしっかりと理解しながら、一番、島原市として良い形が何なのかについていうことを検討している段階です。</p> <p>ひとつには、教員から部活動指導というのが、手が離れたとしても、中には、部活動をしたい、もちろん授業や生活指導辺りを含めながら、教員になったわけなんですけども、部活動をしたいという思いで、中学校の教員あるいは高校の教員になった者も少なからずいると思います。</p> <p>こういった教員につきましては、兼業という職務を果たす形で、当然、地域の指導にも関わっていいですよ、というふうな考え方も持てるんじゃないかな、と思っています。</p> <p>いずれにしても、先ほど教育長が申しあげましたように、子どもたちを中心とした運動、あるいは文化活動ができる島原市を作っていきたいと考えているところでございます。以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、よろしくお願いします。僕もスポーツ少年団に長いこと関わって、吉田光利委員にも今本部長も今していただいております。</p> <p>そこで一つ懸念があるとすれば、地域における指導者さんが、一旦引き受けると、長いことやってもらっていいんですが、なかなか後任が見つからないようなケースの中で、もう今度は、その方に対しての期待と負担が大きくなって、続ければ続けるほど、また誰かが、犠牲と言いませんが過重な負担の中でご苦勞をされてると、保護者はもう期待をして、お願いをするけども、そういったところのバランスが非常に難しいなというのは、僕も経験して感じたことがあります。</p> <p>だから、民間で、地域でってなったときも、そこでも過重な負担にならないようにということと、全くピアノやバレエとか、そういったような習い事</p>

<p>市長</p> <p>市長</p>	<p>ならばですね、保護者がお金払って、そこに連れて行けばいいけども、そういった課題がたくさんあると思います。</p> <p>我々もいろんな面で検討しますので、教育委員会や現場と一緒にですね、よろしくお願ひいたします。</p> <p>他ございませんでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p> <p>ないようでしたら、一旦この2年間延長すると決めた中で、改正案を示していただいています。</p> <p>本当に喫緊の課題を網羅していただいているというふうに私は感じておりますので、このことを2年間延長に関わる改正案の最終案としたいと思いますが、委員の皆さんよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」の声)</p> <p>はい、それではこのことを最終案として、2年間の延長の中で詰めていって、進行させてください。よろしくお願ひいたします。</p> <p>以上ですね、議題としての島原市教育大綱についての協議は終了いたします。</p>
<p>4 その他 意見交換</p>	
<p>市長</p>	<p>最後にその他皆様との意見交換に入らせていただきます。</p> <p>教育行政全般あるいは教育行政以外も含めましてOKですので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>僕からまず1点目、さっきとちょっと関係があるんですが、プール建設に入ります。そのことによって、霊丘公園のこれまで市民の運動広場的であったところがもう全て施設の駐車場ということになります。</p> <p>長年ですね、あそこ市民体育祭もあって、かつては少年のソフトボールも狭いところで4面取ってやっていた。ご年配の方々から見ればですね、そういった運動場をなんで、箱物にするんだっていう、僕にお叱りも届いています。</p> <p>ただやっぱり、今のプールが非常に危険なこと、それと学校の小学校のプールはもう活用しない、ということを決めていること。市民の健康の増進という観点、また交流人口の増加ということで非常に有意義なブルー建設なんですけど、その運動広場的機能がなくなることについての今後の展開なり、思</p>

<p>事務局 (松崎教育次長)</p>	<p>いがありましたら、お知らせいただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>教育次長です。今、市長の方からあったとおりですね、霊丘公園グラウンドの方では、多くの高齢者を中心とした団体に利用していただいております。今回、新しいプールを作るということで、これまでご利用いただいた方の代替地というの、当然、必要となってくると考えております。</p> <p>今のところはですね、当面、市のそういう運動できる場所を探したんですけども、なかなか候補地がなく、最終的には、今の第二中学校のグラウンド、これがかなり広いグラウンドを所有しております。</p> <p>学校の方ともお話をさせていただいたところ、学校の方も地域の方、いろんな方が来ることは学校としても、受け入れをしたいという協力的なお話もいただいておりますので、当面、代替地として、第2中学校のグラウンドの方を活用していただきたいと思っておりますし、今、利用されてる団体の方にもご説明をまずしたところ、ご了承は得ております。</p> <p>ただ、仮の代替地ということになっておりますので、将来的なことについては、他の様々な候補地も含めて、検討していくことが必要だとは考えております。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、ありがとうございます。そういった声があるということで、今のように入れ替えのような考え方も、また今後の展開次第で変更もあっていいのかなと思います。</p> <p>ところで、二中の生徒数は今何人ぐらいですか。</p>
<p>事務局 (牟田学校教育課長)</p>	<p>学校教育課長です。180名程度です。</p>
<p>市長</p>	<p>確か私のときは6組まであったんで、240名の3倍なんで、800名ですね。僕より先輩たちはもっと多かったんですね。わかりました。</p> <p>一方で、僕が知ってるケースが、例えば島根県の社日小学校。会社の社に、日と書きますが、ここなんか小学校の校庭を芝生化して、何をやってるかという、昼休みに地域の老人クラブの方々が、グラウンドゴルフをしながら、昼休みにいきます。</p> <p>給食を食べた子どもたちが、地域のおじいちゃんおばあちゃんと一緒になって、グラウンドゴルフを楽しむと、それが地域の高齢者にとっても、楽しみであって、ひいては、登下校のときの声かけが、非常にスムーズにいつてるってというようなこともありましたので、参考までにですね。</p>

	<p>中学生と小学生では、全くそういう地域の絆は違うと思うんですが、そういったふうなことで、地域の高齢者の居場所作りにあってるっていうケースを、現場まで僕行ったこともありますので、そういった考え方もありました。これは参考まででいいと思います。</p>
<p>事務局 (松崎教育次長)</p>	<p>教育次長です。第二中学校も、今、市長がおっしゃったとおり、全くそういう形なんですけれども、学校の方としても、第二中学校に通う生徒が白山地区、霊丘地区の生徒が多いんですけれども、そういった方が、霊丘公園で活動された方も多いものですから、自分のお孫さんであるとか、そういう方たちが見に行くこともできますし、逆に生徒からすると、自分のおじいちゃんおばあちゃん達が、身近で見れると。</p> <p>学校としてもそういう交流をしたい、というお話をいただいていることだけ、ご説明をさせていただきます。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、よろしくお願ひします。ありがとうございました。</p> <p>それともう1点ですね、これさっき気づいたんですが、さっきの大綱の変更の中に、スポーツ国際交流都市という表記があります。</p> <p>その前までは、国際観光スポーツ交流都市っていうことで、別段これスポーツ国際交流都市でいいと思ひましたので、ぜひ今、施政方針とかに関わってますので、商工観光課あたりとも整合して、できればこれに統一していいんじゃないかなと。</p> <p>ちょっと言い方を間違ったりしますので。いや、これはこれでいいと思うんです。観光課とも、総務の方でも、統一するようにしましょうよ。よろしくお願ひします。はい、以上です。</p>
<p>事務局 (牟田学校教育課長)</p>	<p>すみません、学校教育課長です。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、学校教育課長。</p>
<p>事務局 (牟田学校教育課長)</p>	<p>先ほどご質問いただきました第二中学校の生徒数ですが、昨年度の数が180名ということで、申し訳ございません、本年度は169名でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>すみません、1学年何クラスですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>1学年2クラスです。</p>

<p>(牟田学校教育課長)</p> <p>市 長</p>	<p>分かりました。他に皆さん何かございませんでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>すみません、教育総務課長です。</p>
<p>(酒井教育総務課長)</p> <p>市 長</p>	<p>はい、教育総務課長。</p>
<p>事 務 局</p> <p>(酒井教育総務課長)</p>	<p>すみません、1点説明を忘れておりました。この後の取り扱いについて説明させていただきます。今回、大綱の改正案の方は、3月の市議会の方で報告させていただきたいと思います。</p> <p>その後、公表についてはホームページ等も含めて、周知の方を図りたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>市 長</p>	<p>はい、了解しました。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>5 閉会 (10:50)</p>	
<p>市 長</p>	<p>他にないようでしたら、以上を持ちまして令和5年度第1回島原市総合教育会議を閉会させていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。</p>